

ライフステージに応じた食育

家庭・地域における食育

1 胎児期・乳幼児期

【具体的な取り組み】

子どもの生涯にわたる食習慣の基礎となる時期にあたるため、妊娠期から乳幼児期の食育の重要性について啓発を行います。家庭において、共食や、よく噛んで味わって食べることの大切さを通じて、食を楽しみながら望ましい生活習慣、食習慣が実践できるよう啓発を行い、子どもの健やかな成長を促し、一人ひとりの子どもの「食べる力」を育むための食育を推進します。特に離乳食の進め方に関しては、子どもの健康維持、成長・発達を促し、保護者の不安を解消できるよう、区役所における「離乳食講習会」等において支援を行っていきます。また、子どもへの食育を通じて、保護者自身の食生活を見直すきっかけとなるよう働きかけていきます。

	取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
			平成29年度	平成31年1月末現在		
胎児期・乳幼児期	朝食を毎日食べること、野菜をとることの大切さ等、望ましい食生活のあり方に関する啓発を行い、こどもの心身の健やかな育成のため、講座や教室において啓発を行います。	妊婦教室 離乳食講習会 乳幼児健診 地域ふれあい子育て教室	妊婦教室 280回 2,158人 乳幼児健診等 1,451回 54,635人等	妊婦教室 199回 1,478人 乳幼児健診等 1,083回 40,734人等	【変わる】取り組み	引き続き実施

2 少年期

【具体的な取り組み】

調理体験等を通じて、正しい食生活に関する知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう取り組みを進めていきます。食事の時間はコミュニケーションをとりながら楽しく「共食」する時間であること、よく噛んで味わって食べること、適切な量と質のバランスで食事を選択すること等についての啓発を行います。

	取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
			平成29年度	平成31年1月末現在		
少年期	体験学習を通じて正しい食生活に関する知識を持ち、「自分で食べ物が選べる力を持てる」ようにしていくための、子育て中の親子に対して、食を楽しむ料理教室等を開催します。	食育講座	事業集計なし	食育講座 275回 8,815人	【変わる】取り組み	引き続き継続

第3次大阪市食育推進計画 具体的な取り組みの進捗状況

3 青壮年期

【具体的な取り組み】

生活習慣病の予防に向けて、地域の関係者・関係団体・職域等と積極的に連携を図り、各対象者に合わせ、地域健康講座等を活用した事業展開を進めます。

	取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
			平成29年度	平成31年1月末現在		
青 壮 年 期	生活習慣病の予防、健康の保持・増進等に関する知識の普及啓発を図るため、地域の実態について情報集約し、地域の関係者や関係機関との連携のもと企画調整を行ったうえで、計画的かつ効果的な教室を地域に出向いて開催する。	地域健康講座(壮年)	578回 11,340人	304回 6,490人	【変わる】取り組み	引き続き実施

4 高齢期

【具体的な取り組み】

介護予防事業等を通じた地域との連携により、適切な量と質の食事について啓発し、咀嚼(そしゃく)能力の低下、消化・吸収率の低下等に起因する低栄養を予防するための食生活の推進に取り組みます。

	取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
			平成29年度	平成31年1月末現在		
高 齢 期	介護予防の観点から、低栄養を予防する食生活や口腔ケア等についての高齢者向け健康講座等を実施し、健康で活動的な生活を送ることができるよう啓発する。	高齢者向け健康講座等	306回 6,419人	242回 4,960人	【変わる】取り組み	引き続き実施

第3次大阪市食育推進計画 具体的な取り組みの進捗状況

10 歯と口腔の健康づくりにおける食育の推進

【具体的な取り組み】

乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた歯と口腔(こうくう)の健康づくりにおける食育を推進します。

乳幼児期における歯と口腔(こうくう)機能の発達状況に応じた支援からはじまり、歯と口腔(こうくう)の健康維持と「食事をよく噛んで味わって食べる」ことの重要性や、高齢者の誤嚥(ごえん)・窒息防止も視野に入れ啓発を推進します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
歯と口腔に関する普及啓発を行う職員及び関係者に対する研修会を開催し啓発を推進します。	・歯と口腔に関する普及啓発事業	事業実績なし	職員研修会等 3回 参加者 119人	【変わる】取り組み	引き続き実施
講座や教室等において、何を食べるかといった栄養面だけでなく、よく噛んで味わって食べることの重要性について啓発します。	・妊婦教室 ・離乳食講習会 ・乳幼児健診 ・地域ふれあい子育て教室 ・食育講座 ・地域健康講座(壮年) ・高齢者向け健康講座等	各事業において啓発	各事業において啓発	【変わる】取り組み	引き続き実施

13 食育推進ネットワークの強化

【具体的な取り組み】

地域に密着した食育を推進するため、地域の教育・保育・子育て関係施設・団体、食育ボランティア団体、企業、図書館、特定給食施設、飲食店等が参加する「食育推進ネットワーク」をさらに強化します。各区役所栄養士がコーディネーターとなり、区内の食育関連施設・団体の関係者が連携・協働し、研修会、食育事例発表会の開催や、媒体等の作成・発行、「食育展」への参画等の取り組みを進めます。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
各区食育推進ネットワーク会議の開催	食育推進事業	104回 1,319人出席	89回 1,281人出席	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

14 関係機関・団体等が連携した食育イベント等による食育の推進

【具体的な取り組み】

各区食育推進ネットワークを中心として、市内の大学、すこやかパートナーや食品関連企業等と連携・協働し、食育の実践につながる参加型の食育イベント等の開催により食育の推進を図ります。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
各区食育展の開催や、高校・大学・商業施設等と連携したイベントを開催しています。	食育推進事業	食育展・食生活展等 92回 24,391人	食育展・食生活展等 58回 18,808人	【つくる・つながる】 取り組み	連携先を広げて継続

15 食育ボランティアの養成と活動支援

【具体的な取り組み】

地域に密着した食育を推進するため、引き続き食育ボランティアの養成と活動支援に取り組みます。また、受講者層の拡大に向けて周知方法等を検討し、受講者の増加に努めるとともに、食育の推進に関わるボランティア活動がより活発に展開できるよう支援します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		計画 数値目標	計画策定時 現状値
		平成29年度	平成31年1月末現在		
各区において、健康講座保健栄養コース(年1回9回コース)を開催し、食育ボランティアを養成しています。	食育ボランティアの養成	修了者数 431人	修了者数 469人	6年間の修了者数 3,000人	H24～H28年度 実績平均494人/年

16 栄養成分表示店等を通じた食育の推進

【具体的な取り組み】

飲食店や惣菜店等に対しては、栄養成分表示やヘルシーメニューの提供を行うよう啓発、技術的支援を行うことで、取り組みを行う店の増加に努めます。また、市民へは引き続き栄養成分表示の活用方法や健康・栄養情報の提供等の普及啓発を行い、一人ひとりの健康管理に資するよう食環境整備を図ります。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		計画 数値目標	計画策定時 現状値
		平成29年度	平成31年1月末現在		
「うちのお店も健康づくり応援団の店(栄養成分表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店)」登録店舗数の増加に努めるとともに、飲食店等に対して技術的支援を行なっています。	栄養成分表示等を通じた食育の推進	1,803店舗 H29年度末	1,834店舗	2,070店舗 H35年度末累計	1,595店舗 H28年度末

17 特定給食施設を通じた食育の推進

【具体的な取り組み】

健康増進法に基づく施設巡回指導や給食関係者等を対象にした研修会・講演会を実施し、給食を通じた食育の推進を図ります。また特定給食施設の中でも、喫食者自らが食事を選択する従業員食堂や学生食堂に対し、ヘルシーメニューの提供や健康・食生活に関する情報提供が積極的に行われるよう働きかけます

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
施設管理者等に対して、適切な給食の運営、栄養管理、食育活動等が行なわれるよう巡回指導を実施しています。	特定給食施設を通じた食育の推進	ヘルシーメニューの提供、媒体の掲示等を行なっている施設の割合 89.4%	ヘルシーメニューの提供、媒体の掲示等を行なっている施設の割合 86.8%	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

18 ホームページ・インターネット等による食育の推進

【具体的な取り組み】

大阪市ホームページにおける各関係部署の食育情報発信、食育媒体の掲載等内容充実に努めます。また、大阪市食育情報発信Facebook「たべやん通信」において、大阪市全般の食育情報を掲載し、とりわけ、若い世代に向けて発信していきます。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
大阪市・各区ホームページ、各区Facebook等のSNS、大阪市食育情報発信Facebook「たべやん通信」において、イベント情報や、その時々の食育情報を発信しています。	食育推進事業	「たべやん通信」投稿 28回	「たべやん通信」投稿 40回	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

地域での共食啓発の取り組み

24 乳幼児・少年期

【具体的な取り組み】

食を通じた人とのつながりや見守りの視点を重視し、一人で食事をする機会をできる限り減らし、家族・地域での共食を通じて、健康な体をつくる食習慣と豊かな心を育むことができるよう、多様な暮らしに対応した共食の啓発に取り組みます。

	取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
			平成29年度	平成31年1月末現在		
乳幼児・少年期	講座や教室等において、栄養面だけではなく「共食」の意味と「共食」の重要性について啓発を行っています。	妊婦教室 離乳食講習会 乳幼児健診 地域ふれあい子育て教室 食育講座等	各事業において啓発	各事業において啓発	【変わる】取り組み	引き続き実施

25 青壮年期・高齢期

【具体的な取り組み】

生活意欲や食事の質を向上させる等の効果をもたらすとされる家族や仲間との共食について、関係団体や職域との連携により、また、地域における健康教育や一般介護予防事業を通じて啓発します。

	取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
			平成29年度	平成31年1月末現在		
青壮年期・高齢期	講座や教室等において、栄養面だけではなく「共食」の意味と「共食」の重要性について啓発を行っています。	地域健康講座(壮年) 高齢者向け健康講座等	各事業において啓発	各事業において啓発	【変わる】取り組み	引き続き実施

31 災害時の食についての啓発

【具体的な取り組み】

家庭における災害時の食の「自助」のために、市民一人ひとりが食品の備蓄と「ローリングストック」を意識した食生活を送るよう、関係部局や企業等と連携し啓発します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
<p>災害時を想定した料理教室の開催や、その他健診・講座などの機会をとらえて家庭での食品備蓄について啓発を行っています。</p> <p>また、各区において開催している食育推進ネットワーク会議において、参加施設における災害時の食のマニュアル作りや食品備蓄についての情報交換会やグループワークを実施しています。</p>	<p>離乳食講習会 乳幼児健診 地域ふれあい子育て 教室 食育講座 地域健康講座 食育推進事業 等</p>	<p>事業集計なし</p>	<p>料理教室等の開催 46回 2,057人 その他健診・講座等 での啓発 175回 3,757人</p>	<p>【安全・安心】の 取り組み</p>	<p>引き続き実施</p>

ライフステージに応じた食育

教育・保育施設における食育

5 保育所

【具体的な取り組み】

「保育所保育指針」では、子ども一人ひとりが生涯を通じた健全な食生活の実現に向けて、自ら食に対して考え興味を示し、食に関する様々な知識と判断する力を楽しく身につけられるよう、保育計画に位置づけた「食育年間計画」を策定し、保育所職員が一体となり取り組みを進めることとされています。こども青少年局では、各保育所においてより効果的な取り組みを行うために、各保育所の実情に応じた食育年間計画を策定し、食育を推進できるよう支援します。また、子育て家庭への発信拠点として食習慣や食生活の重要性について、保護者への啓発を進めています。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		計画 数値目標	計画策定時 現状値
		平成29年度	平成31年1月末現在		
各公立保育所においてより効果的な取り組みを行うため、「クラスごとの年間目標」の策定を推進します。	食育年間計画の策定	89.1%	90.5%	100%	86.4%

6 地域子育て支援施設等

【具体的な取り組み】

各区役所栄養士等と連携し、乳幼児を家庭保育している保護者を対象とした食に関する講座や離乳食・手作りおやつ等の調理実習等を行っています。子育ての悩みに寄り添いながら食に関する知識を伝え、個々に即した食環境の充実を目指す支援を行っています。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
栄養士、保健師等を講師とした食に関する講座や、食育担当者による手作りおやつ・離乳食の展示や調理実習を行い、調理方法や調理のポイントをわかりやすく説明します。	食の講座の開催	439回 4,296人	380回 3,458人	【変わる】取り組み	引き続き実施

ライフステージに応じた食育

7 幼稚園

【具体的な取り組み】

<食物への関心>

野菜等の栽培活動を友達や教師と一緒に体験することを通して、その生長に目を向けるとともに、収穫の喜びを味わい、食物への興味や関心を広げることができるよう働きかけます。

<食べる喜びや感謝の気持ち>

昼食等の機会をとらえ、楽しい雰囲気の中で、友達や教師と一緒においしく食べることで、作ってくれた人への感謝の気持ちや食べる喜びを感じることができるよう取り組みます。

<食習慣の育成>

友達や教師と一緒に食事の準備や片付けをし、食事のマナーを学ぶことで、食習慣が身に付くよう取り組みます。

<保護者への啓発>

子どもの健やかな成長を育むという観点から食育の大切さを伝えるために、様々な情報発信に努め、保護者への啓発を行います。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	今後の方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
野菜等の栽培活動を友達や教師と一緒に体験することを通して、その生長に目を向けるとともに、収穫の喜びを味わい、食物への興味や関心を広げることができるよう働きかけます。	食物への関心	日常の働きかけの中で実施	日常の働きかけの中で実施	【変わる】取り組み	引き続き継続
昼食等の機会をとらえ、楽しい雰囲気の中で、友達や教師と一緒においしく食べることで、作ってくれた人への感謝の気持ちや食べる喜びを感じることができるよう取り組みます。	食べる喜びや感謝の気持ち	日常の働きかけの中で実施	日常の働きかけの中で実施		
友達や教師と一緒に食事の準備や片付けをし、食事のマナーを学ぶことで、食習慣が身に付くよう取り組みます。	食習慣の育成	日常の働きかけの中で実施	日常の働きかけの中で実施		
子どもの健やかな成長を育むという観点から食育の大切さを伝えるために、様々な情報発信に努め、保護者への啓発を行います。	保護者への啓発	日常の働きかけの中で実施	日常の働きかけの中で実施		

第3次大阪市食育推進計画 具体的な取り組みの進捗状況

8 小学校・中学校

【具体的な取り組み】

＜学校における体系的な食育の推進＞

各学校において食に関する指導の全体計画に基づく年間指導計画の策定、食育推進組織の設置を進めます。学校における食育について評価を行い、PDCAサイクルに基づき総合的に推進します。

＜栄養教育推進事業の充実＞

栄養教諭の未配置校を対象とした食に関する指導の授業を行うとともに保護者・地域への啓発を進めます。

＜中学校における食育指導資料「食育つうしん」の配付＞

中学校給食を活用した指導資料を生徒に配付し、中学校における食に関する指導の充実を進めます。

＜食育展の開催＞

保護者・地域を対象として、食育に関連した展示等を通じて啓発を行います。

＜学校給食献立コンクールの実施＞

児童生徒が学校給食の献立を作成することにより、栄養のバランスや食材の旬等健康や季節を考えた料理を学ぶ機会とします。また、その献立を学校給食に活用することにより、食への興味・関心を高めます。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		計画 数値目標	計画策定時 現状値
		平成29年度	平成31年1月末現在		
各学校における食に関する指導の全体計画に基づく年間指導計画を策定します。	食に関する全体計画の策定	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	100%	小学校 100% 中学校 88.5%
各学校における食育の推進組織の設置を進めます。	食育推進組織の設置	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	100%	小学校 100% 中学校 87.7%
各学校における食育について評価を行います。	食に関する指導についての評価	小学校 77.2% 中学校 72.3%	調査中	前年度数値以上	小学校 78.4% 中学校 67.7%

第3次大阪市食育推進計画 具体的な取り組みの進捗状況

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
栄養教諭の未配置校を対象とした食に関する指導の授業を行うとともに保護者・地域への啓発を進めます。	栄養教育推進事業の充実	全小学校で実施	小学校及び中学校で実施	【変わる】取り組み	引き続き実施
中学校給食を活用した指導資料を生徒に配付し、中学校における食に関する指導の充実を進めます。	中学校における啓発資料(食育つうしん)の配付	年11回配付	4月から1月まで9回配付		
保護者地域を対象として、食育に関連した展示等を通じて啓発を行います。	食育展の開催	継続	10月23日～26日に実施		
児童生徒が学校給食の献立を作成することにより、栄養のバランスや食材の旬等健康や季節を考えた料理を学ぶ機会とします。また、その献立を学校給食に活用することにより、食への興味・関心を高めます。	学校給食献立コンクールの実施	継続	継続		

ライフステージに応じた食育

9 小学校・中学校(学校給食)

【具体的な取り組み】

・学校給食献立表の家庭への配付

家庭での食生活の充実に役立つよう、献立内容、調理方法等を記載した学校給食献立表を児童生徒に配付します。また、食品を「おもにエネルギーのもとになる」、「おもに体をつくるもとになる」、「おもにからだの調子をととのえるもとになる」といった体の中での働き別に3色で表示し、併せて生活習慣病予防等の情報も提供します。

・試食会の開催

各学校において、保護者を対象に試食会を開催し、栄養のバランス、味、量等について理解を深めてもらう等学校給食の啓発を行うとともに、食への関心を高めます。

・地産地消、伝統的食文化の推進

学校給食の食材の地場産物の利用増加に努めます。さらに、「大阪市なにわの伝統野菜」を学校給食に利用できるよう努めます。また、大阪らしい料理を給食に取り入れ、充実するとともに、大阪の食文化を伝えていきます。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
献立ごとの全使用食品と使用量、食育に係る情報を記載した家庭配付用献立表を配付し、啓発に努めます。	学校給食献立表の家庭への配付	毎月、家庭配付用献立表を小学校全校、学校調理方式(親子方式)の中学校63校の保護者に配付しました。 献立表の中で、食育について一口メモ欄を設けて情報提供をしています。	毎月、家庭配付用献立表を小学校全校、学校調理方式(親子方式)の中学校96校の保護者に配付しました。 献立表の中で、食育について一口メモ欄を設けて情報提供をしています。	【変わる】取り組み	引き続き実施
各学校において、年1回、保護者等を対象に試食会を開催し、学校給食への啓発を行うと共に、食への関心を高めます。	試食会の開催	小学校290校 学校調理方式(親子方式)の中学校15校	小学校177校 学校調理方式(親子方式)の中学校9校		

19 なにわの伝統野菜の普及啓発

【具体的な取り組み】

地域資源である「大阪市なにわの伝統野菜」を、新鮮な都市農業野菜をPRする牽引役と位置付け、大阪府と共同で認証事業を実施します

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
大阪の農業と食文化を支えてきた歴史・伝統をもつ野菜の理解を深めるとともに、市内農業の振興を図るため、市民が多く集まるイベントにリーフレットを設置し、来場者に伝統野菜のPRを行います。	なにわの伝統野菜の普及啓発	1,600部 (配布実績)	400部	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

20 エコ農産物の推進

【具体的な取り組み】

安心で安全な農作物を市民に供給するとともに、環境に配慮した農業に取り組む農業者を支援するため、大阪府と連携して「大阪エコ農産物認証事業」を実施します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
「大阪エコ農産物認証制度」の活用を図るため、大阪市エコ農産物推進協議会が市内農業者の生産過程においてエコ農業の推進を支援する。	エコ農産物の推進	申請面積 339a (平成29年7月申請+ 平成30年1月申請)	申請面積 158a (平成30年7月申請)	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

21 農地・農業に関する市民セミナー

【具体的な取り組み】

都市農業振興事業として、市民が農地・農業に対する理解をより一層深めるため、セミナーを実施します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
<p>やる気と実力を備えた市内農業者の創出・育成を図るための各種セミナーを実施します。</p> <p>また、地域住民への農地・農業に対する理解醸成を図るための市内居住者向けセミナーを実施し、アンケート等により現状の認識を把握します。</p>	<p>農地・農業に関する市民セミナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キックオフセミナー（1回） ・農業者向けセミナー（3回） ・市民向けセミナー（3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・キックオフセミナー（1回） ・農業者向けセミナー（3回） ・市民向けセミナー（3回） 	<p>【つくる・つながる】 取り組み</p>	<p>引き続き実施</p>

23 大阪の食文化伝承のための取り組み

【具体的な取り組み】

「地域活性化包括連携協定」に基づく企業との連携による取り組みとして、市内の小・中学生を対象に、料理人による「食育教室」を開催し、大阪の食文化に対する理解を深めます。また、保育所や学校給食において郷土料理や季節の行事食等を取り入れ、子どもの頃から食文化に触れ、学ぶ機会を提供します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
「地域活性化包括連携協定」を締結している(株)ぐるなびと連携し、市内の小・中学生を対象に、料理人による「食育教室」を開催。大阪特有の食文化や歴史にまつわる講義と実演により、大阪の食文化に対する理解を深める。	市内の小・中学生を対象とした「食育教室」	小学校(1校) 中学校(1校)	小学校(1校) 中学校(1校)	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

22 大阪市中心卸売市場の食育

【具体的な取り組み】

市場の果たす役割や機能を広く発信するとともに、生鮮食料品の普及を図り、食育を推進する観点から、今後も引き続き市場内事業者と協力し、市場見学や料理教室を開催します。また、食材の出回り時期や栄養・機能性等の情報をはじめ、おいしい食べ方等のワンポイントアドバイスを写真付きで紹介する「食材図鑑」をホームページに掲載し、その利用を促進します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
全国から集まる新鮮で豊富な食材が取引きされる現場を体感し、また、食材の見分け方などを楽しく学びながら、市場への理解を深めます。	市場見学	9,207名	7,979名	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施
野菜・果実や魚介類等の知識・調理方法を分かりやすく紹介することにより、食育推進を図るとともに、市場の仕組みや役割についての認識を深めてもらう契機とします。	料理教室	44回 1,667名	42回 1,563名	【つくる・つながる】 取り組み	引き続き実施

26 消費生活に関する講座の開催

【具体的な取り組み】

「エルちゃんの“わん”デー講座」において、食の品質表示・安全分野等に関するテーマ等を取りあげ、健康に暮らすために知っておきたい食に関する知識についての講座を開催します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
<p>大阪市内在住・在勤・在学の方を対象として、食の品質表示・安全分野等に関することをテーマに、健康に暮らすために知っておきたい食に関する知識についての講座を開催する。</p>	<p>エルちゃんの“わん”デー講座</p>	<p>①6月22日開催 テーマ「食べれば健康？飲んで安心？～健康食品や特定保健用食品について知ろう！～」</p> <p>②9月20日開催 テーマ「食事で若々しく健康に～食品添加物と食生活について～」</p> <p>③10月24日開催 テーマ「知っておきたい食品表示～産地やアレルギー、食品表示には情報がいっぱい～」</p>	<p>①7月18日開催 テーマ「知っておきたい食品表示～食の安心・安全を確認するために～」</p> <p>②平成31年1月30日開催 テーマ「その食べ物、ほんとうに安全？～安全に食べるための方法教えます～」</p>	<p>【安心・安全】の取り組み</p>	<p>引き続き実施</p>

11 エコ・クッキングの開催

【具体的な取り組み】

保護者と子どもを対象とした親子エコクッキングや市民や地域団体を対象としたエコクッキングを開催し、食材を無駄にしない取り組みを啓発します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
保護者と子どもを対象として食材を無駄にしない料理教室を開催しています。	親子エコ・クッキングの開催	2回 29人	2回 48人	【変わる】取り組み	引き続き実施
市民や地域団体を対象として食材を無駄にしない料理教室を開催しています。	エコ・クッキングの開催	11回 250人	6回 107人	【変わる】取り組み	・引き続き実施 ・各地域において広く取組みを実施していただくよう周知

12 食品ロスの削減

【具体的な取り組み】

啓発パネルやリーフレット(アクションプラン)等を活用し、各種イベント等において食品ロス削減や、3きり運動について、普及啓発を実施します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		計画 数値目標	計画策定時 現状値
		平成29年度	平成31年1月末現在		
各種イベント、講座等において、啓発パネルの掲出、チラシの配布等により「食品ロス」の削減に向けた普及啓発活動を実施しています。	「食品ロス」削減にかかる啓発活動	食品ロスの削減のために何らかの行動をしている市民の割合 97.4% (市政モニターアンケート) 98.2% (イベントでのアンケート)	食品ロスの削減のために何らかの行動をしている市民の割合 97.6% (各種アンケート)	現状維持	98.1%

27 食品表示の適正化に関する取り組み

【具体的な取り組み】

食品表示は、市民や食品等事業者が食品を選択する上で必要な情報を確認するために必要不可欠なものです。本市においても関係部署が連携することで、効果的かつ効率的な監視を実施し、適正な食品表示が行われるよう努めます。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
関係部署の連携により、適切な食品表示が行われるよう監視・指導を行います。	食品表示の適正化の取り組み	適宜監視・指導を実施	適宜監視・指導を実施	【安心・安全】の取り組み	引き続き実施

28 食品衛生に関する講習会の開催

【具体的な取り組み】

市民が安全で安心な食生活を送るためには、食品に関する正しい知識を習得し、これを実践する必要があります。これまで食品の安全に関する情報について、意見交換会の開催等により市民の理解を深めてきました。

近年、本市においてはカンピロバクター食中毒が多発しており、20歳代の患者の割合が高いことから、この世代に対する啓発が重要と考え、若い世代を対象にカンピロバクター食中毒の防止を中心とした食品衛生講習会を開催します。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		計画 数値目標	計画策定時 現状値
		平成29年度	平成31年1月末現在		
高校生、大学生及び専門学校生を対象に食品衛生講習会を実施し、食肉の生食によるカンピロバクター食中毒に罹患するリスクについて周知する。	若い世代を対象とした食品衛生講習会等の開催	51回	51回	30回	6回

29 食品安全モニターの実施

【具体的な取り組み】

市民が正しい食品衛生知識を習得し、日常の買い物の中で、食品表示や保存温度等の確認を行い、その内容を定期的に報告する活動を通して、食品の安全に関心を持ち、市民一人ひとりが主体的に行動することで、安心できる消費生活の実現を図ります。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
市民が正しい食品衛生知識を習得し、日常の買い物の中で、食品表示や保存温度等取扱い状況の確認と定期的報告等、市民自身が主体的に行動することにより、食品の安全性に関心をもっていただき、不安を解消し、安心できる消費生活の実現を図ります。	市民参加型食品衛生事業 「食品安全モニター」の実施	食品安全モニター 25人 研修会等 6回 モニタリング活動 ・確認店舗数 3,982件 ・表示確認食品数 39,398件	食品安全モニター 26人 研修会等 4回 モニタリング活動 ・確認店舗数 4,842件 ・表示確認食品数 30,077件	【安心・安全】の 取り組み	引き続き実施

30 大阪市食品衛生監視指導計画策定時における市民等の意見反映

【具体的な取り組み】

大阪市食品衛生監視指導計画の策定にあたっては、「オープン市役所(究極の情報公開)」の取り組みとして、「施策プロセスの見える化」により、その進捗状況、寄せられた意見等を本市ホームページにて順次公表しています。素案の段階から市民や食品等事業者等と意見交換を行い、その結果を踏まえて策定した案についてパブリック・コメントを実施し、意見を募集する等、市民や食品等事業者等の意見を反映することに努めます。

取り組みの概要	主な取り組み	実績		3つの柱 該当部分	方向性
		平成29年度	平成31年1月末現在		
市民や食品等事業者等と意見交換会を行い、その結果を踏まえて策定した案についてパブリック・コメントを実施する等、市民や食品等事業者等の意見を反映することに努めます。	大阪市食品衛生監視指導計画の策定に係る意見交換会の実施	年1回パブリック・コメントを実施	年1回パブリック・コメントを実施	【安心・安全】の 取り組み	引き続き実施